

Glycosaminoglycansの浸潤による  
と推測されるびまん性下腿浮腫は  
バセドウ病合併症として稀ではない

高松内科クリニック

高松 順太、芝原 千恵

第53回日本甲状腺学会  
2010年11月13日

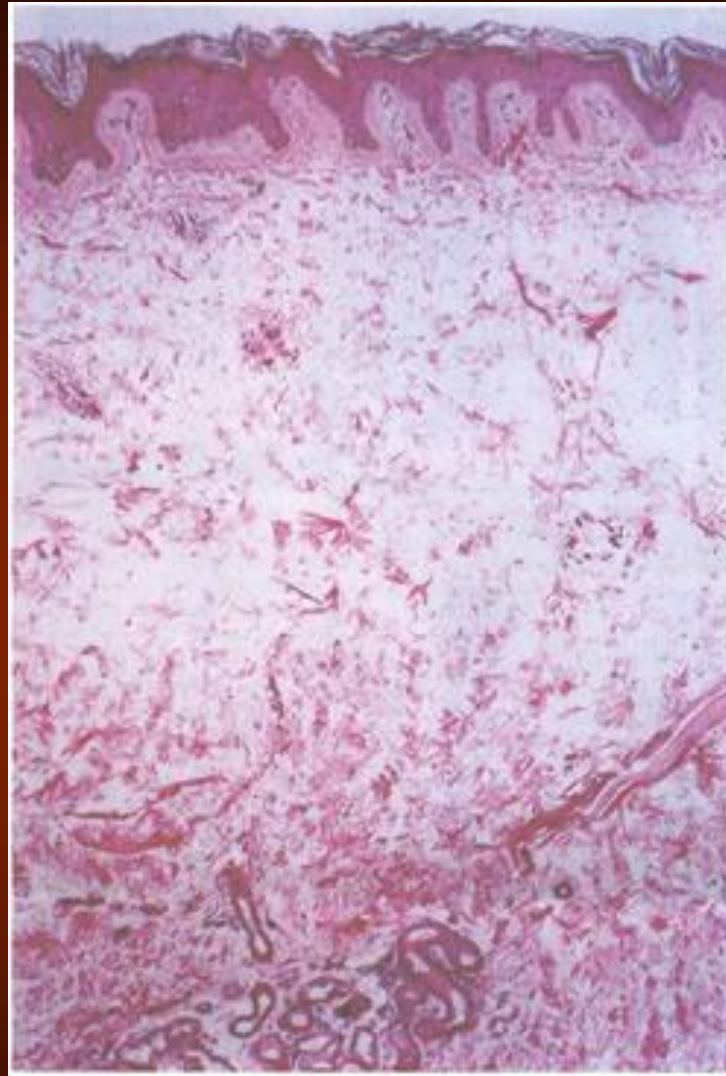
# バセドウ病患者の下肢病変



Reprinted from J Clin Endocrinol Metab. 87:438-446,2002 (Schwartz KM et al)

# バセドウ病患者の下肢結節性粘液水腫

GAG



Reprinted from J Clin Endocrinol Metab. 87:438-446,2002 (Shwartz KM et al)

# 背景

バセドウ病の合併症として眼症とともに有名なものは、下肢の粘液水腫です。

これまで脛骨前部での限局性結節性腫脹のことを表現して来ました。Glycosaminoglycans (GAG)の沈着が認められており、稀な合併症とされて来ました。

ところが私たちは、バセドウ病診療の現場において、主として美容上の問題ではありますが、足のむくみに困っておられるバセドウ病患者さんが少なくないことに気づきました。

それはバセドウ病に特徴的とされているような限局性、結節性ではありませんでした。むしろ下腿全体に浸潤しているびまん性腫脹を呈していました。この浮腫は指圧痕を残さないことから、GAGの沈着ではないかと思われました。

# バセドウ病患者の下肢写真ー1



# 対象

172名の比較的若い女性(16-39歳)

バセドウ病 54名

橋本病 68名

健常者 50名

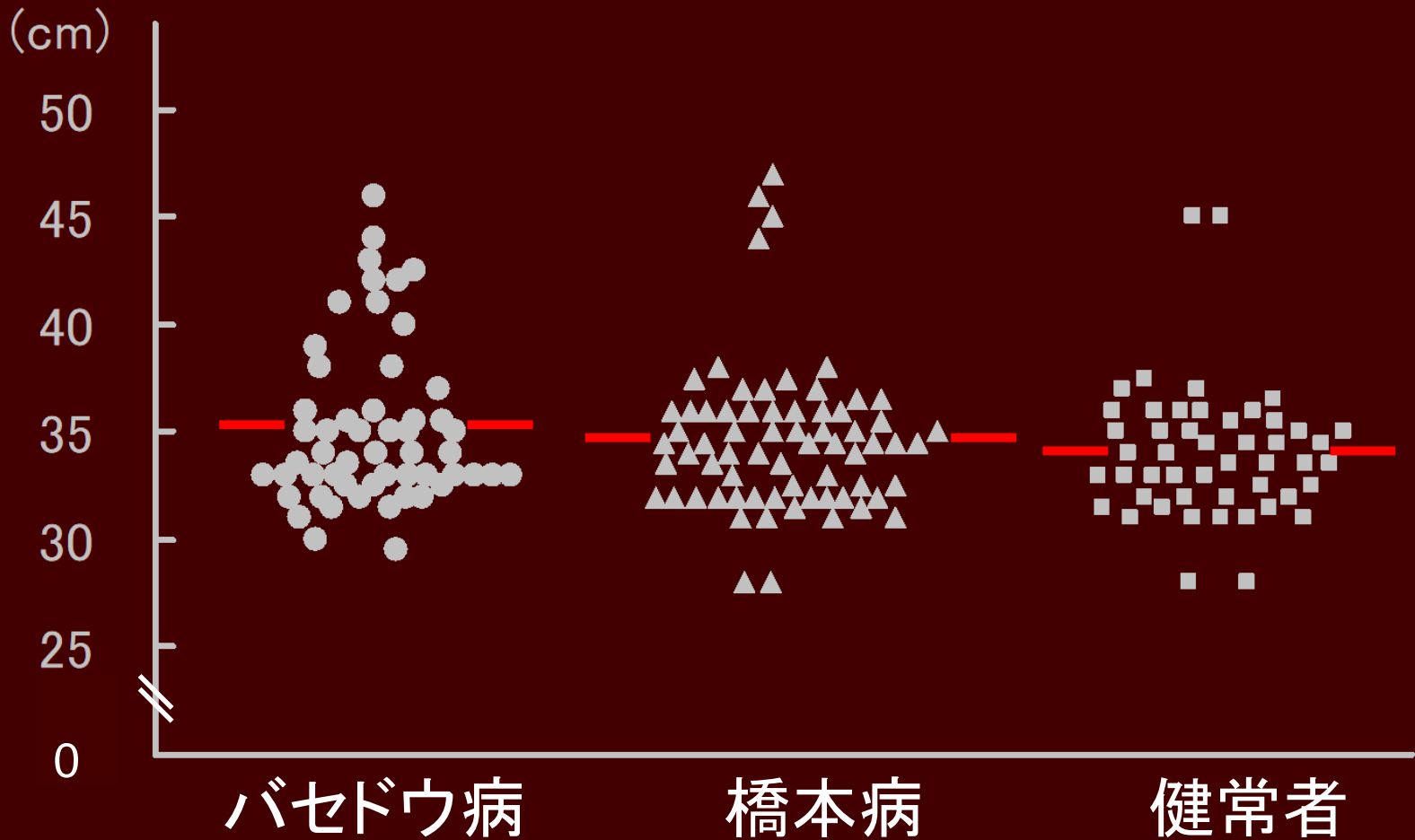
# 方法

足首およびふくらはぎ部位についてテープメジャーで周囲径を測定

# 下肢周囲径測定方法の実際

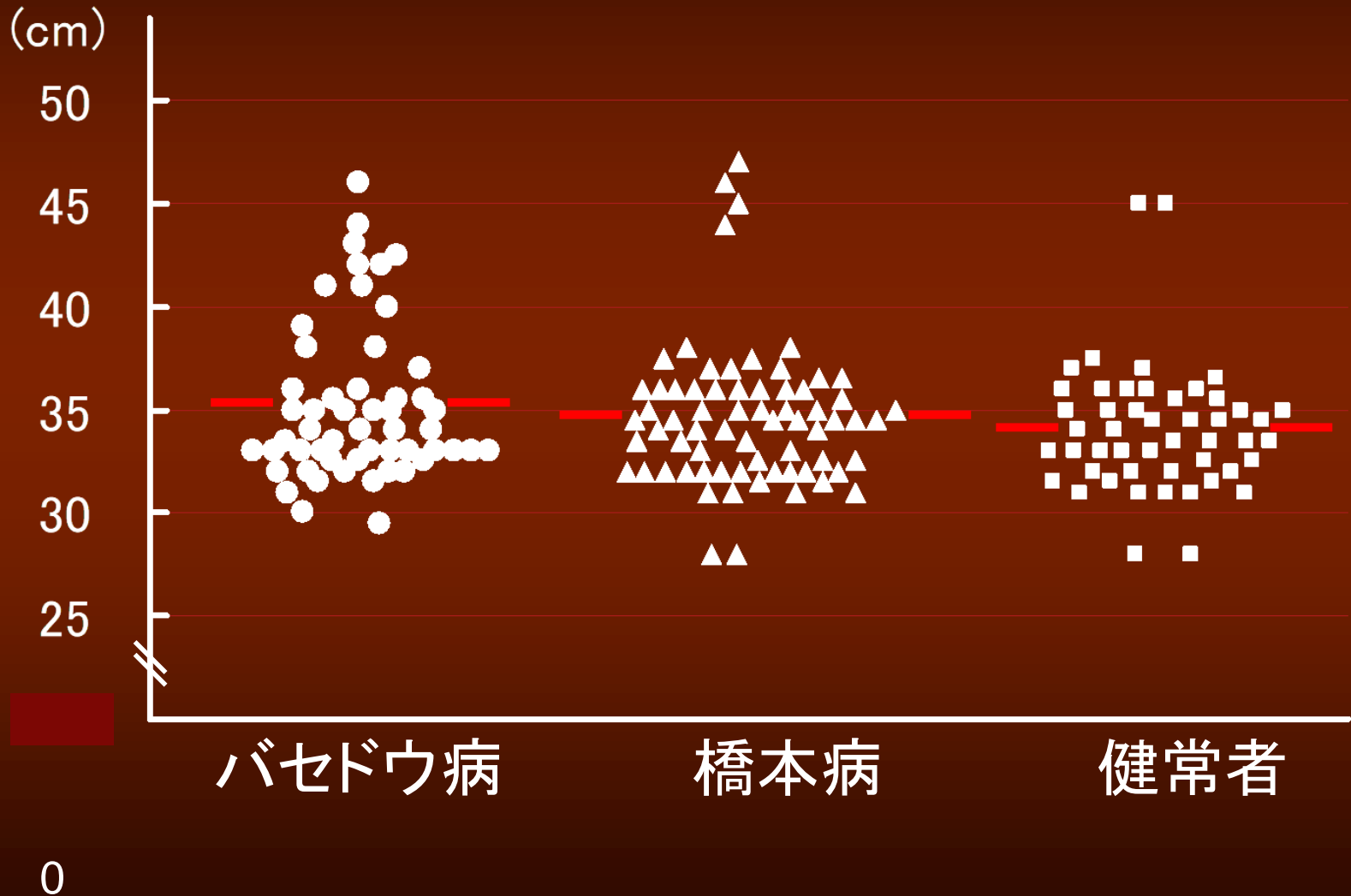


# ふくらはぎ周囲径

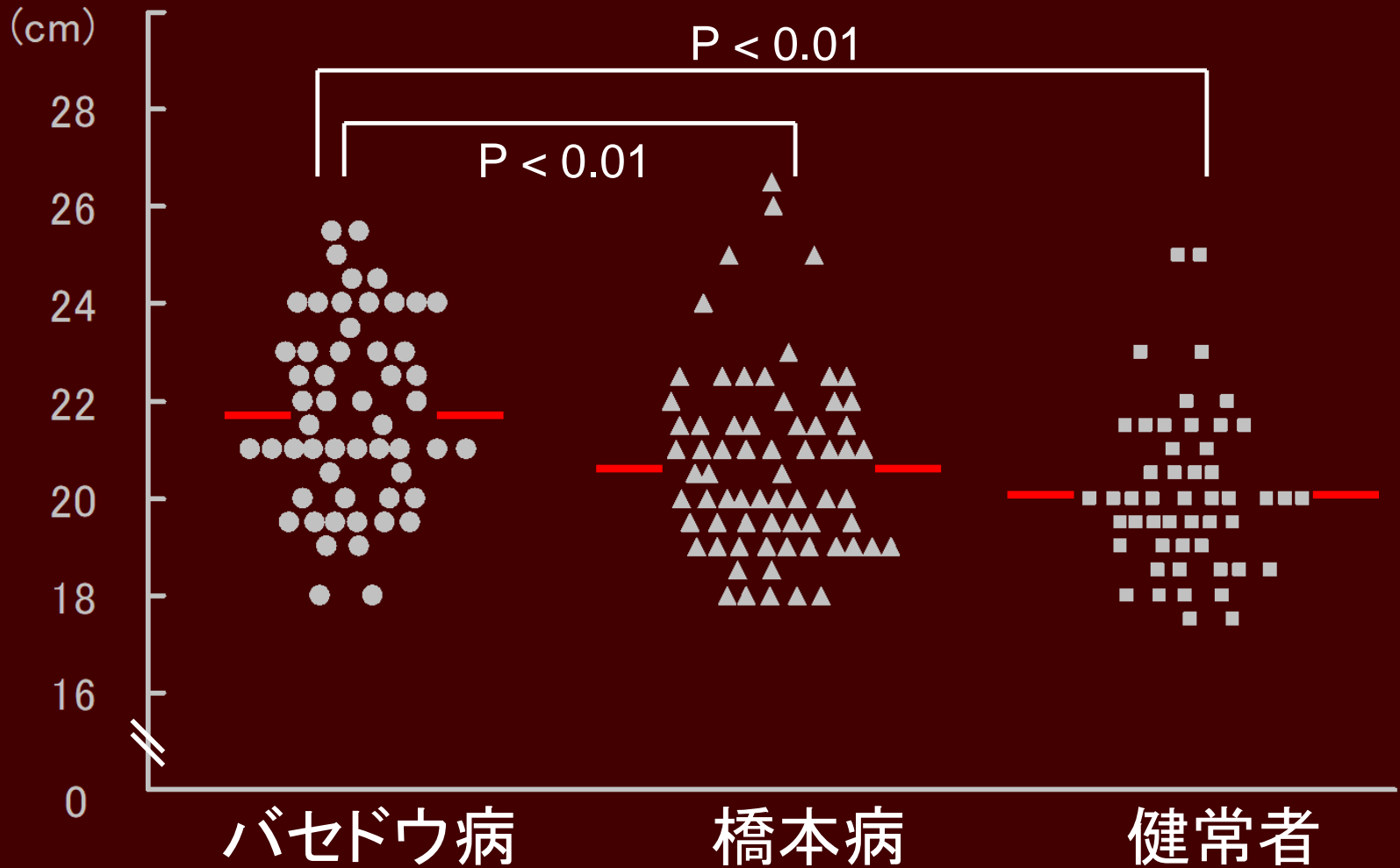




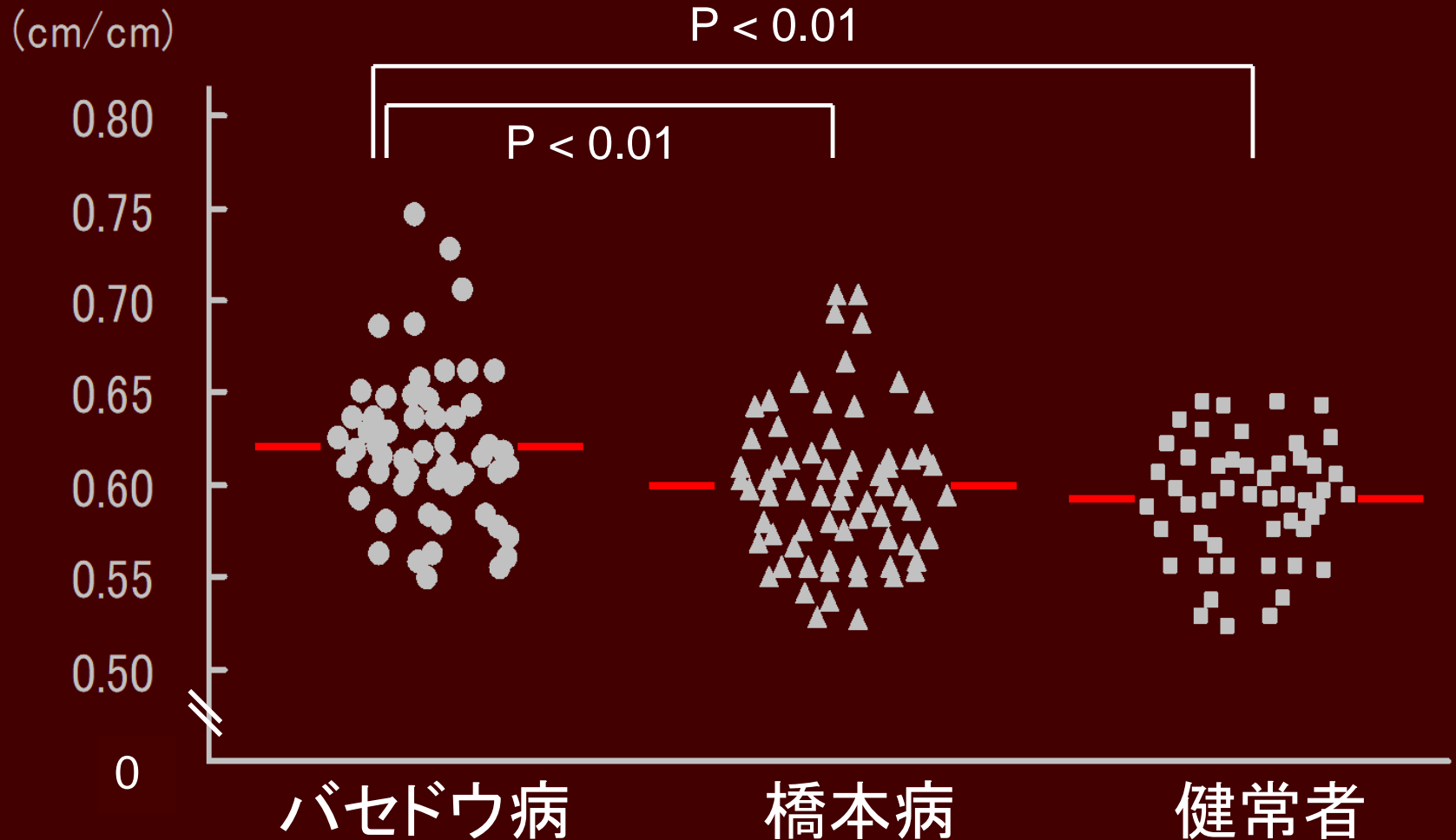
# ふくらはぎ周囲径



# 足首周囲径



# 足首／ふくらはぎ比



# その他の結果

神経学的検査では、温度に対する感覚の低下が認められました。痛覚検査では異常ありませんでした。

超音波検査では、皮下部にGAG様物質のびまん性沈着が認められました。

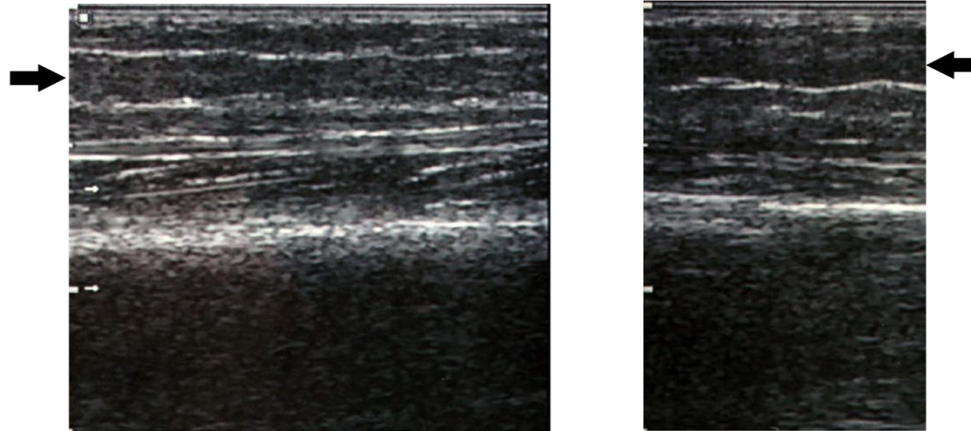
バセドウ病患者間では、眼症合併群と非合併群とのあいだに測定値の有意差はありませんでした。

# バセドウ病患者の下肢写真-2

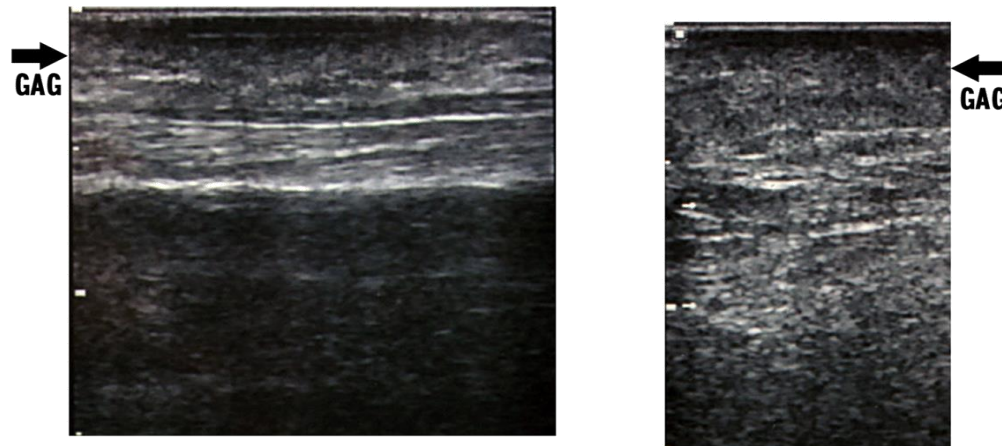


# 脛骨前面部の皮下エコー写真

## Normals



## Graves' Disease



# 結論

バセドウ病患者の下肢において、結節性ではなくびまん性に、ふくらはぎより足首優位にGAG沈着と推測される浮腫が高頻度に存在することが示唆されます。

足首／ふくらはぎ比が0.66以上(2／3以上)の場合、バセドウ病合併症としての足病変の可能性が推測されます。